

# 第1学年英語科学習指導案

時間・場所 公開授業③ 1年5組教室  
 学 級 1年5組 32名(男子14名, 女子18名)  
 指 導 者 田中 浩子

## 1 単元名 Program 8 “Origami” (開隆堂 Sunshine English Course 1 P 80)

### 2 単元について

本学級は、入学当初、英語の学習に対する不安を感じていた生徒が多かったが、帯活動での英語の歌や音読、発音練習など大きな声を出し意欲を持って取り組む姿勢が見られるようになった。日常での会話や基本文を使った簡単なやり取りなど、授業でもペアやグループで会話の機会を増やし、積極的に英語を使用できるようになってきた。英語の表現を身に付けさせ、自分の気持ちや感想なども伝えられるよう工夫したい。

ここでは、言語材料として能力を表す can の肯定文、否定文、疑問文と手段・方法をたずねる how を取り扱う。日常的に使う機会の多い身近な表現であり、本校 CAN DO リストの「話すこと(やり取り)」3)「友達や先生とペアで簡単な会話をすることができる。」を主観に置いた指導に適した教材である。生徒は、小学校の外国語活動で can を使った表現に慣れ親しんでいるので、ここでは助動詞の機能に気付かせ、定着を図り、更に会話を広げられるように繰り返し指導したい。

本単元は、大介が自分の得意な折り紙について紹介している。日本特有の文化である折り紙についての大介の話に触れ、改めて日本文化に対する関心を高め、その良さを知る機会としたい。また、写真や絵を見せながら話す Show and Tell 形式は、小学校でも体験してきた。その手法を身に付け、本単元で学んだ表現を使い、次の My Project での他己紹介で活用できるよう指導していきたい。

### 3 単元目標及び評価規準

#### (1) 単元目標

- ・自分のできることや手段について表現したり、相手に尋ねたり答えたりする。
- ・いろいろな工夫をして、友達と対話をする。
- ・助動詞 can を用いた文の構造を理解する。
- ・疑問詞 How を用いた文の構造を理解する。

#### (2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
様々な工夫をして、話を続けることができる。	助動詞 can を用いて、自分や友達のできることに質問したり、話したりできる。	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・疑問詞 how を用いた文の構造を理解している。</li> </ul>

### 4 単元計画 (総時数 7 時間)

小単元名	時間	主な学習内容
Section 1	2	助動詞 can の意味・用法を理解し、自分のできることを説明する。本文の内容理解。
Section 2	2	助動詞 can を用いた疑問文・否定文の語順・用法を理解し、友達に尋ねる。【本時】本文の内容理解。
Section 3	2	疑問詞 how を用いた疑問文の語順・用法を理解し、友達と対話する。本文の内容理解。
	1	単元テスト

## 5 本時の指導 (3/7)

### (1) 目標

- ・ Can you ~?の文を正しく用いて、友達に「~できますか?」と質問したり応答したりできる。
- ・ 友達との会話が長くよう、工夫して話をするができる。

### (2) 「振り返り」の工夫

- ・ ミニノートを使用し、会話で使った「~できますか?」の文章を正しく書く。
- ・ 視点に沿って、本時の授業で何を学習し、また、本時の学習を通して何ができるようになったかを記入させる。

### (3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫 ( )
導入 5分	0 歌を歌う。[全体] 1 元気よく挨拶をする。[全→ペア] 2 前時の復習をする。	2 ピクチャーカードを見せながら can の表現の復習をさせる。 3 助動詞 can の疑問文を紹介し、今日の表現に触れさせる
	Today's goal: 友達とできることできないことについて話をしよう	
展開 35分	4 Basic Dialog を聞き、音読する。 5 Listening を聞いて、問題を解く。 6 Speak で今日の表現を練習する。 7 Activity ・ 友達に聞く内容を考える。[個] ・ 友達にインタビューする。[ペア] ・ 友達の情報を伝える。[ペア]	4 英語らしく発音できるよう指導する。内容を確認する。 7 会話のマナーを確かめる。一言加えたり、感想を言うなど、会話を続ける工夫をさせる
	8 友人に尋ねた内容をミニノートに記入する[個]	工夫しながら会話をしているか【観察】 Can you ~?の文を正しく使えているか【観察・ノートチェック】
終末 10分	9 本時の振り返りを行う。 ①記入する[個] 3分 ②ペアで交流する[ペア] 2分 ③発表する[全体] 3分	9 視点を示して、ミニノートに記入させる。記入した感想をペアで交流させる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達にできるかどうかを尋ねる時は、Can you ~?の表現を使うことが分かった。(第II型)</li> <li>・ Can you ~?の表現を使って、友達の事を沢山知ることができた。(第III型)</li> </ul>	
	10 次時の予告を聞く。	10 Section2 の本文、マイクと大介の折り紙についての会話を読んで音読練習することを伝える。